



## コロンビア国 : デジタルプラットフォームを活用したルーメン微生物フローラと草地管理の最適化による牛肉バリューチェーン創出プロジェクト



2 月 16 日～26 日、コロンビア農牧研究公社 (AGROSAVIA) 9 名とコロンビア畜産連盟 (FEDEGAN) 3 名を対象とした SATREPS プロジェクトの本邦研修「**ウシーメン微生物叢分析と成長曲線解析手法およびリモートセンシングによる草地評価手法とその利活用に関する研修**」が実施されました。

2 年目となった今回の本邦研修では、主に名古屋大学や中部大学で身に着けた知識や技術をコロンビアに持ち帰り、日本の経験を現場で生かせるよう、応用する力が試されます。



本邦研修修了後、JICA コロンビア支所の佐藤洋史支所長は、「本邦研修を通じた日本  の研究者とコロン

ビア  の研究者・技術者の交流は、両国間の科学技術力を強化し、ルーメン微生物叢  を分析する先進的手法を学び、ドローンや人工衛星、AI (人工知能) を活用した牧草  のバイオマスや栄養価の評価技術への理解が進んだことに言及しました。また、

知見の交流により、プロジェクトチームとしての研究能力の向上だけでなく、二国間の協力関係も強化されたことに触れました。更に、本 SATREPS プロジェクトは、コロンビアの畜産分野に技術 4.0 を導入した戦略的アプローチを採用しており、より効率的で持続可能な牛肉の生産システムを確保することの重要性を再認識する機会となりました。

最後に、訪日の際に日本の文化に触れる機会は、プロジェクトの発展を豊かにし、研修に参加した皆さんの個々の人生にとって掛け替えのない経験として記憶に残ることを願っています」と述べました。



JICA コロンビアは、これからもコロンビアの持続可能な畜産を推進していきます!!   

プロジェクト概要は、こちらの QR 字コードから



JICA コロンビア支所 Facebook



Follow us